



舞殿・舞楽舎お屋根替え及び修復の竣工（平成17年11月18日）

<http://www.okunijinja.jp/>



奉祝

平成十七年御鎮座千四百五拾年

慶事を重ねて

平成十七年十一月十五日、紀宮清子内親王殿下と黒田慶樹さんがご結婚されました。祝福に包まれ仲睦まじいお姿を拝し、衷心よりお慶び申し上げますとともに末永い幸福をお祈り申し上げます。

小國神社では御鎮座一四五〇年記念の慶年でありました。四月十八日の記念例祭は、神社本庁より献幣使の参向を戴き、厳肅に斎行されました。

さらに、五月二十四日には、「舞殿及び舞楽舎お屋根替え及び修復工事」起工奉告祭を斎行し、第一期の記念事業に着手いたしました。工事は昔ながらの伝統工法で進められました。建物周囲の足場は金属性のパイプではなく丸太で組まれ、参拝者より「今時にはなく、神社さんらしい。」との声も聞かれました。いったん全ての松皮を取り除き、下地の修復をいたしました。松皮を葺く技術者によると、当社の屋根の状態は他に比べ、松皮の耐久性があるそうです。下地の修復に続き、主に神社境内木より採取しました松皮による葺き替えに移りました。屋根の先端部分から作業を始め、段々と上部に進んでいきます。横一列に並び竹製のくぎを打ちながら松皮を葺いていく様子は、根気のいる作業です。今回は延べ九トンの松皮を使用いたしました。早朝五時頃より始め、暗くなると照明を使い午後九時過ぎまで実施いたしました。最終工程の箱棟に銅板を施し、鬼板が付けられて約半年に亘る屋根替えは無事完工となりました。また、併せて舞殿、渡廊の欄干・床板等を修復いたしました。

十一月十八日、責任役員以下工事関係者が参列し、竣工奉告祭を斎行の後、清祓式を執り行いました。また、新嘗祭の当日には、柿落としとして古式舞楽保存会による奉祝の舞楽が奉納されました。演目は花の舞、連舞（えんぶ）の順からで、所謂祓いの舞から奉奏しました。

この一年、二基の鳥居には奉祝の横断幕を掲げ、「募財及び記念事業の告知看板」を設けてまいりました。また募財委員会の真摯な活動により、氏子・崇敬者各位の深いご理解と格別なご奉賛を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。平成十八年は第二、三期の記念事業に取り組んでまいります。引き続き篤いお力添えを賜りますようお願い申し上げます。年の瀬になりましたが、氏子・崇敬者各位におかれましては、良い新年をお迎え下さいますようお願い申し上げます。

新嘗祭の斎行・ 奉納農産物品評会の表彰

境内の紅葉が段々と見頃を迎えてきた十一月二十三日、新嘗祭が斎行されました。当日は天候に恵まれ、ご神前には氏子の皆様よりご奉納いただきました沢山の農産物をお供えし、今年の豊穣を大神様にご奉告し感謝申し上げます。

また、舞殿横では振興会主催による恒例の奉納農産物品評会を開催いたしました。四十九回目を迎える本年は、昨年の出品数を六〇点程も上回る、四二〇点の出品をいただきました。新嘗祭斎行後の即売会も大盛況のうちに完売することができました。

ここに、受賞された方々をご報告させていただきますとともに、ご協力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。(敬称略)

〈協力賞〉

- 第一位 牛飼 部農会
- 第二位 宮代西 部農会
- 第三位 上川原 部農会
- 第四位 中川上 部農会
- 第五位 橋 部農会



奉納農産物品評会 (11月23日)

〈小國神社賞〉

- 大根 赤根 小池まさ子
- 白菜 円田上 鈴木 紀雄
- 米 円田上 鈴木 紀雄
- メロン 円田下 鈴木 勝幸
- 茶 中川上 本多 利吉

〈遠州中央農業協同組合代表理事賞〉

- 生姜 片瀬 毛利 正雄
- 里芋 片瀬 天野 静平
- レタス 谷中 村松 久雄
- 柿 谷中 西尾 貞雄
- 米 上川原 野口 富彦

〈小國神社振興会賞〉

- つくね芋 宮代東 米山 昭三
- 黑豆 片瀬 毛利 正雄
- 椎茸 橋 高木 一彦
- 白葱 円田下 鈴木 照男
- ゆず 円田下 大場 康史
- 玄米 円田上 鈴木三千雄
- 大豆 中川上 鈴木 武久
- キウイ 中川下 山本 啓仁
- 青梗菜 牛飼 村松 教司
- かぶ 牛飼 半田 常夫
- 十八点出品 牛飼 村松伊佐雄

〈特別賞〉

- 小國神社賞 鈴木勝幸氏 (円田下)



小國神社賞 鈴木勝幸氏 (円田下)

篤志奉納者に感謝状の贈呈

例年、十一月二十三日の新嘗祭に併せ、年間に多額の浄財並びに物品等をご奉納下さいました方々に、感謝状と記念品を贈呈させていただきました。

本年は、浜松市の鈴木信乃様より鈴木中央筆の屏風を、また、森町の松井晴山様より森山焼の花瓶をご奉納いただきました。現在、屏風は大宝殿で、花瓶は参集殿控え室においてご覧いただけます。

ここにご芳名を記載し、改めて厚く御礼申し上げます。

- 屏風 風 鈴木信乃 (浜松市)
- 森山焼花瓶 松井晴山 (森町森)
- 神饌 米 山本時春 (中川)
- 神饌 米 永田佐吉 (一宮)
- 神饌 米 永田光司 (草ヶ谷)

(順不同・敬称略)



屏風 (奉納 鈴木信乃氏)



花瓶 (奉納 松井晴山氏)



森町菊盛会による菊花展

舞殿竣工・奉祝舞楽の奉奏

本年、御鎮座一四五〇年の記念事業第一期といたしまして進めてまいりました「舞殿・舞楽舎お屋根替え及び修復工事」が、皆様の篤志によりお陰をもちまして十一月初旬に竣工いたしました。

十一月十八日に竣工奉告祭を斎行し、二十三日の新嘗祭に併せお披露目となりました。この奉祝行事といたしまして、古式舞楽保存会により舞楽を奉奏し、多くの方にご覧いただきました。

時間の都合上、二段ある演目より花の舞（番外）・色香・太平楽・安摩・二の舞・獅子の奉奏となりました。終了後は、餅撒きも行われ、大いに賑わいました。

常には四月の例祭でまばゆい新緑の中で舞われますが、今回は鮮やかな紅葉の中での奉奏でひと味違った風情があり、新しくなった舞台もより映えていました。



えんぶ連舞（稚児2名）



舞楽奉奏後のお参り（参拝者も一緒にお参りくださいました）



二の舞（翁と媪）



獅子伏せ役



太平楽（太刀4名）



宝 蔵

宝蔵は御本殿の透塀より西側にある高床式校倉造り風の建物です。宝物は経塚より出土した古鏡・経筒（平安時代）や遠州報国隊関係品等で、四月に斎行される神幸祭の御輿・祭具等も奉安しています。

一般参拝者の立入りができない場所ですが、周りには紅葉が立ち並び、また一面に瑞々しい苔が生し御神域を感じさせます。宝蔵の横には宮川から引いた用水が流れ、防火対策がとられています。

古代の森シリーズ 15

宝蔵

紅葉まつりの開催

十一月中旬になりますと、境内をはじめ宮川沿いの紅葉が彩り始めます。今年の紅葉は五日ほど遅れましたが、十一月二十七日(日)の紅葉まつり当日は一番の見頃となりました。本年も舞殿では琴の奉納演奏、またお茶席を設けて紅葉を観ながらの野点が行われ多くの参拝者に楽しんでいただきました。

特に琴の演奏会では、舞台となる舞殿が御鎮座一四五〇年を記念してのお屋根替え及び修復工事が竣工したばかりということもあり、一段と輝きを放つ桧皮葺屋根の下で奏でられる音色は格別でした。門前では、晩秋の肌寒い中訪れる皆様に森町茶商組合によりまずお茶の接待、参拝



琴の奉納演奏（むらさき会望月社中）



お茶席（森町茶道愛好会中村社中）

者休憩所では甘酒の接待をいたしました。宮川沿いでは、今井克宏シェフの「森のカフェテラス」がパンや温かい飲物の販売をし、また小國神社敬神婦人会によりましておしるこが振舞われ人気を集めていました。

この時期は特にカメラを手にする方も多く、四回目を迎えた写真コンテストも多数のご応募が望めます。夜間は赤い太鼓橋の上流付近をライトアップし、幻想的な雰囲気演出しました。

当社は参拝を兼ねて四季折々の花木を楽しんでいただける鎮守の杜として年間大勢の方々が訪れます。特に「もみじ」は夏の眩しいほどの新緑、秋の紅葉と眼で見て、手にとつてと間近で楽しめます。最近では「遠州の名所」として取り挙げられ平日・休日を問わず遠方からの参拝者が増えております。



宮川沿の紅葉（平成17年12月2日 午後3時撮影）

総代会視察研修旅行の実施

九月五日より七日にわたり、当社の総代会の視察研修旅行が東北方面にて実施されました。出発当初は台風の影響もあり、天候が心配されましたが、現地では好天に恵まれ順調に日程を進めることが出来ました。初日は、青森県津軽の高山稲荷神社に正式参拝をいたしました。社殿は、高いところに鎮まり、周りの木々の枝葉が同じ方向に向き、風が強い感じが取れました。また、横手に並ぶ幾多の赤い鳥居は圧巻でした。

二日目は、同じく津軽の岩木山神社に正式参拝をいたしました。本来ならば、社殿後方に神体山が拝めるのですが、生憎雲がかかりその姿を見ることが出来ませんでした。ちょうど前日まで大祭が行われており、参道の幟等その様子がかがえました。最終日は岩手県盛岡に移り、盛岡八幡宮に正式参拝をいたしました。こちらは一つの社殿で儀式殿と拝殿が上下に区分けされており、これは大きな特徴といえるのでは



青森県・高山稲荷神社参拝



岩手県・盛岡八幡宮参拝



青森県・岩木山神社参拝

ないでしょうか。今年浅野温子さんの古事記の語り舞台も行われ、さらには街中のせいか活気に溢れていました。三日間を通し、各お社で手厚いお迎えをいただき、その地ならではの神社の在り方を知り得たことではないでしょうか。旅行中、総代の皆様は常に和気藹々と有意義に過ごされ、より親睦が深まったことと思います。

命 名

平成十七年五月一日

平成十七年十一月三十日

小桐	濱松市	孝介	藤枝市
濱田	森町	偉琉	掛川市
松下	袋井市	心美	掛川市
松野	袋井市	達矢	島田市
鈴木	森町	悠那	森町
榊原	森町	悠那	森町
佐藤	磐田市	悠那	磐田市
赤堀	磐田市	豪哉	磐田市
森下	伊勢市	真衣	伊勢市
北野	磐田市	七瀬	磐田市
深田	磐田市	彩織	磐田市
稲谷	磐田市	美結	磐田市
安藤	森町	明衛	森町
村松	掛川市	隆弘	掛川市
笹本	掛川市	千夏	掛川市
横山	袋井市	萌愛	袋井市



七五三詣りの社頭

○当社では、お子様の命名を申し受けております。

猪股	寺田	花嶋	三郷	秋山	加藤	鈴木	八木	玉田	鈴木	吉田	渡部	大石	青木	深田	亀山	榛村	渥美	小林	川辺	永澤	内山	小寺	高橋	松浦	山本	大石	鈴木	増井	鈴木	袴田	織田	中村	織部		
李紀	直輝	美瑠	颯太	紗希	梨菜	夢丸	結菜	美沙	優奈	菜々子	優奈	千星	唯愛	光希	亮弥	々々	々々	暖	翔太	光葵	勝太	克季	真菜	愛麻	竜生	琴音	久登	健太	文也	薫	悠斗	結晶	結晶		
磐田市	磐田市	森町	浜松市	掛川市	沼津市	袋井市	京都市	掛川市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市

新春祈禱のご案内

来る平成十八年の新春祈禱を例年通りご奉仕いたします。

当日の受付は混雑が予想されるため、当社では年内の予約受付をいたしておりますのでご利用下さい。

尚、個人のご祈禱は当日受付にて毎日ご奉仕いたしております。

ご家族、皆様お揃いでご参拝くださいますようお願い申し上げます。



正月の社頭（拝殿前）



田遊祭斎行後の餅撒き（1月3日）

一、予約対象 会社及び個人事業者

一、申込方法 電話またはFAX等にて申し受けます。

一、ご相談、ご不明の点がありましたら、左記までお問い合わせください。

小國神社 新春祈禱予約係

TEL ○五三八一八九七三〇二
FAX ○五三八一八九七三六七

厄除大祭のご案内

人生の節目に当たる厄年は、健康、仕事、私生活などあらゆる面で難にたいやすい年頃といわれ、無事を願う気持ちは今も昔も変わりません。

小國神社では一月二十六日より二月三日まで厄除大祭を執り行います。平成十八年の厄年に当たる方は、「厄除」のご祈禱をお受けになり、健やかな日々の生活をお過ごし下さい。

尚、二月三日の当日は混雑いたしますのでお早めにお越しくださいませう。ご案内申し上げます。

○祈禱料 五、〇〇〇円より

○厄除大祭神札及び御守を授与いたします。

○祈禱受付 午前九時～午後四時

一平成18年 厄年表一

男	前 厄	本 厄	後 厄
	昭和22年 60才	昭和21年 61才	昭和20年 62才
性	昭和41年 41才	昭和40年 42才	昭和39年 43才
	昭和58年 24才	昭和57年 25才	昭和56年 26才
女	前 厄	本 厄	後 厄
	昭和46年 36才	昭和45年 37才	昭和44年 38才
性	昭和50年 32才	昭和49年 33才	昭和48年 34才
	昭和64年 18才	昭和63年 19才	昭和62年 20才



家康公お手植のみかん

駿府公園本丸跡に現存する静岡県指定天然記念物の「家康公お手植のみかん」から、接ぎ木した一年成木を植栽して四年を経ました。今年には多くの実がなり、家康公ゆかりの地として大切に育成しています。

まつり歳時記

十二月～三月

十二月 師走

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 甲子祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十七日 鎮火祭 (午後三時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十八日 滝宮社例祭 (午前十時)
- 十八日 初穂献納祭 (午前十一時半)
- 二十三日 天長節祭 (午前九時)
- 二十五日 煤払祭 (午後一時)
- 三十二日 大祓式・除夜祭 (午後三時)

一月 睦月

- 一日 初祈禱祭 (午前零時)
- 一日 歳旦祭 (午前三時)
- 二日 日供始祭 (午前八時)
- 三日 元始祭・追儺祭 (午前八時)
- 三日 田遊祭 (午後一時)
- 六日 本宮山例祭 (午前十時)
- 七日 神明宮参拝 (午前八時半)
- 十一日 手新始祭 (午前九時)
- 十二日 寒の丑日水汲祭 (午前二時)
- 十五日 どんじ焼祭 (午前九時半)
- 十七日 八王子社例祭 (午前九時)
- 十七日 御弓始祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十六日 正月三日 厄除大祭 (午前九時)

二月 如月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 節分祭世話人祈禱祭 (午前十一時)
- 三日 節分祭 (午後二時)
- 四日 初甲子祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十一日 紀元節祭 (午前十時半)
- 十五日 覆社姫孝社白山禰祭 (午前九時)
- 十五日 塩井神社例祭 (午前十時)
- 十八日 祈年祭 (午前十時)

三月 弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
 - 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
 - 十八日 月次祭 (午前九時)
 - 十八日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
 - 十八日 鉾執社例祭 (午後一時半)
 - 二十一日 春季皇霊祭遙拝式 (午前九時)
- 〔例祭日程のお知らせ〕
- 四月 十五日 舞楽奉奏 (午後二時)
 - 十六日 舞楽奉奏 (午前十一時)
 - 十六日 神幸祭 (午後二時)
 - 十七日 前日祭 (午前十時)
 - 十八日 例祭 (午前十時)

師走の大祓

十二月三十一日の大晦日、午後三時より師走(年越)の大祓式を斎行いたします。大祓とは、日々の生活の中で知らず知らずのうちに、心や体についた罪やけがら、災厄や不浄なものを身代わりとなる人形(形代)に移し、清らかな姿に立ち返るようお願い、川に流して祓い清める神事のことをいいます。

この神事は、年に二回(十二月と六月の晦日)行っておりますが、当日ご参列いただければ神職とともにお祓いをお受けいただけますので、是非ともご家族お揃いでお申し込みの上、ご参列いただきますようご案内申し上げます。

尚、大祓の人形は一ヶ月前より、ご祈禱をお受けいただきました方々に、または社頭にてお頒けいたしております。ご希望の方は当社までお問い合わせ下さい。皆様と一緒にお願いをして、清々しく新たな気持ちで新年を迎えましょう。

小國神社社務所 大祓係
TEL 〇五三八一八九一七三〇二
FAX 〇五三八一八九一七三六七



師走の大祓式

本宮山例祭の斎行

新春の一月六日、厳しい寒さの中、本宮山例祭が斎行されます。

本宮山とは、当社の御祭神であります大己貴命が最初に天降られた場所であり、標高五一一メートルの山頂には奥磐戸神社が鎮斎され、御祭神の荒霊をお祀りしております。

午前十時、祭典が始まり宮司の祝詞奏上後、ご参列いただきました皆様に玉串を奉りご拝礼をしていただきます。祭典後には、遠州灘を遙かに望みながら、当社にて醸造いたしました古式神酒(ドブロク)や甘酒・煮豆等で直会が行われます。

この祭典には、どなたでも参列出来ますので、ご希望の方は当社までお問い合わせ下さい。



本宮山奥宮の石鳥居



月下美人の開花（奉納 松井晴山氏）



宮川沿紅葉のライトアップ（11月26日・27日）

「小國の杜・点描」

当社の神饌田にて育てられました「イセヒカリ」を収穫し、十月に伊勢の神宮にて斎行されます神嘗祭に懸税として奉納させていただきました。



伊勢の神宮へ懸税（かけじから）の奉納

平成十七年十一月六日（日）午前十一時、日本経済新聞社・杉田亮毅社長ご夫妻がご参拝にられました。葛城・北の丸からお越しになり、菊花展をご覧いただき、その後境内の散策をお楽しみになりました。



日本経済新聞社・杉田社長ご夫妻ご参拝



紅葉まつり・おしるこの接待



例祭雪洞の諸準備

振興会の活動

敬神婦人会の活動

静岡県市町村対抗駅伝競走大会に出場される森町代表団が必勝祈願のご祈祷をうけられました。十二月三日の大会では町村の部で見事五位に入賞し、翌日早朝にはお礼のお参りもされました。



駅伝森町代表団・必勝祈願

編集後記

○「玉垂」十五号をお届けいたします。今年も紅葉の時期には多くの皆様にご参拝を戴きました。各地では「赤色」があまり芳しくなかった様ですが、当社では例年通りに黄色とともにお楽しみ戴きました。○紅葉が散るといよいよ師走本番です。お正月準備に一丸となって向かっていきます。

表紙写真について

お屋根葺替え直後の舞殿等を撮影いたしました。五月二十四日に「舞殿及び舞楽舎お屋根替え及び修復工事」起工奉告祭が斎行され、第一期の記念事業が始まりました。工事は順調に進捗し、十一月初旬には完成になり落成の清祓式をとりおこないました。

平成十七年十二月十八日
「玉垂」（たまだれ）第十五号
題字揮毫 神社本廳前総長 工藤 伊豆
発行 小國神社社務所
郵便番号 四三七一〇二二六
住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
電話番号 〇五三八（八九）七三〇二
FAX 〇五三八（八九）七三六七
印刷 (株)デザインオフィス エム・エス・シー